

令和7年度都立瑞穂農芸高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	語彙・読解・表現の基礎的学力の定着	- 本文の読解の中で、多様な語彙に触れさせる。 - 基礎的な漢字力を身に付けるために小テストを行う。 - 文章を読み、考えを述べるトレーニングを日常的に行う。	- 漢字能力検定の挑戦、合格を目指す。 - 俳句、短歌等を実作し、言葉の感性を伸ばす。 - 自ら考え、表現する教材の開発をする。
数学	- 基礎学力の向上 - 論理的思考力の向上	- 定期考査前には小テストを複数回実施し、学習の定着度を確認して基礎学力の定着と向上を図る。 - 数学を学ぶことにより計算力や論理的な思考力を身に付ける。	少人数指導により生徒の学習進度を把握するとともにきめ細かい指導を行う。また、生徒の学習意欲を高めるために単元の導入で身近な事象を取り入れ、主体的に学習に取り組む教材開発と授業展開する。
英語	言語活動の充実	- 言語活動による平常点の数値化を共有。 - 英語コミュニケーションⅠ（1年）および英語コミュニケーションⅡ（2年）においてパフォーマンステストを計画。	- T G Gにおける英語の実践的な活用の体験（2年） - 実用英語技能検定受検希望者へのサポート（全学年）
社会	- 読解力および表現量の向上 - 反復学習による基礎知識の定着	- スタディサプリ等を活用した週末課題の配信 - ふりかえりやレポート課題による学習内容を活用する機会の増加	- ニュース検定や世界遺産検定受験希望者への対策講座実施 - ルーブリックを活用した個人評価および相互評価の実施
理科	基礎学力を向上し、自ら考える力をつける。	日常生活や身近な自然現象を取り扱い、興味関心を高め、考える力をつける。	4年制大学に進学希望の生徒に向け発展的な内容や数的処理、グラフや表の解読等を取り入れる。
農業	基礎学力の定着とICT機器を活用し、実践的知識、技術の向上	- 習熟度に対応した授業や指導 - 現代農業の技術や施設の導入（スマート農業など） - 実習におけるICT機器の利用と生徒によるICT機器の活用（課題研究やプロジェクト学習）	- 園芸科学科：GAP取得による生産品の取扱いや日常管理の学習。水耕栽培での作物生産技術を学ぶ。持続可能な循環型農業の実践 - 畜産科学科：外部連携による豚肉の生産と学校給食等における食育活動。牛温恵を用いた分娩予測とスマート農業学習 - 食品科：校内及び瑞穂町内で生産される農畜産物の加工を通して第6次産業について学ぶ。外部講師による実践的食品加工技術の取得
家庭	- 基礎学力の定着による資格取得 「探究の課程」と「課題解決」を踏まえた学習活動の充実	- 年度当初の教科会で年間指導計画を共有し、指導項目について共通理解を持つ。 - 実習指導におけるICT活用。	- 各種コンテスト、検定に挑戦 - 文化祭での学習成果発表 - 外部講師を招き、体験的、実践的実習の実施と技術向上